

情報部会 部会記録

平成 29 年 10 月 13 日(金)13:30～

県総合教育センター382 大研修室

1 開会の挨拶 谷内 祥訓 部会長(新湊)

2 研究発表

(1)「マクロ言語を活用した授業」

岩城 透(雄峰)

視聴覚教材を活用することで生徒の興味を引き出すことができることや、マクロ言語(VBA)を用いた授業実践などを、具体的な事例をあげて発表された。

(2)「Moodle, LaTeX, R を活用した授業」

東海 直樹(砺波)

Moodle, LaTeX, R を活用した授業事例について、生徒の反応や感想を交えながら報告され、生徒の実態を踏まえた今後の課題について発表された。

3 報告

「全国高等学校情報教育研究大会」

小林 悠樹(南砺福野)

平成29年8月に電気通信大学で開催された大会の報告。基調講演の情報入試に関する内容や、分科会で紹介のあった実践事例について報告された。

4 講演

「情報教育に関する3つのトピック

—情報科教員の採用配置・情報入試・情報教育手法—」

長野大学 企業情報学部企業情報学科

教授 和田 勉 氏

情報科教員の採用配置について

- ・高校情報科担当教員の採用・配置・教員養成に関する状況

情報入試について

- ・思考力・判断力・表現力を問う大学入試
- ・問題試作と Computer Based Test (CBT) 化の取り組み

情報教育手法について

- ・情報の科学的理解のための教育手法
- ・プログラミング教育ツールとコンピュータサイエンスアンプラグド

(道具を用いて実演された)

5 謝辞・指導助言

牧田 洋一郎 指導主事

講演では、プログラミング教育や新入試に向けた取り組みの必要性を教授された。また、研究発表は、プログラミング教育に関するもので、生徒の進路や習熟度に応じた使用言語の選択や、学習させたい内容に絞った授業展開が必要であると感じた。今後も生徒が楽しく、主体的に学習できる教材開発に取り組んでいただきたい。

6 閉会の挨拶

的池 秋成 副部会長(砺波工業)